

# JAERA NEWS LETTER vol.193

一般社団法人日本自動車リサイクル機構

ニュースレター 2025年05月号



## 連載企画

### 自動車リサイクル業界を担うホープ(13)

名前: 上江渕 大和(うえず やまと) (27歳)

所属: 株式会社カーグリーコマゼン  
(愛知県弥富市)

担当: 生産課

特技: 野球

MBTI: 主人公型(強いリーダーシップと他者を深く理解し共感する能力に優れており、理想に向かって突き進むカリスマ性も持ち合わせている)

— 仕事で誰にも負けない部分  
体力

— この業界の魅力を一言で  
資源を再資源化して価値を生み出すところ

— 将来の業界への期待  
資源化できていないものを再資源化し、業界が更なる発展をすること

※MBTIとは認識・決定理由・処理方法など16タイプの性格に当てはめるテストで、キャリアの適性判断、チームワークの強化、最近ではアイドルのプロフィールなど様々な分野で利用されています。

## INDEX

【連載企画】自動車リサイクル業界を担うホープ/巻頭言 ——— P.1

—新連載—自動車リサイクル業界の転換点を生き残る ——— P.2.3

資源回収インセンティブ制度コンソーシアム公募要領が公開 ——— P.3

第19回 景況調査結果 — P.4

吉田商会ガラスのリサイクル/JARCクルマの作品コンクール/  
JAERA会議報告 ——— P.5

3月新車販売・使用済自動車発生台数 ——— P.6

鉄スクラップ最新情報 ——— P.7

行事予定・お知らせ / 編集後記 ——— P.8

## 巻頭言

広報部会

小宮山 敬仁

最近、たまたま10年くらい前の映画「ぼくは明日、昨日のきみとデートする」をネットで見てとても感動しました。しかし、何分古い前の映画のため、この感動を誰とも共有できず、モヤモヤしていました。ダメ元でChatGPTにこの映画のどうゆう点が良かったかを入力したところ、あたかも一緒に映画を見た友人と、その映画の感想を語り合うかのような感覚で、やりとりをすることができました。

ChatGPTは「私は人間の感情を持っていません」と謙遜しますが、やりとりしているこちらとしては、とても【共感】を得られた感覚を持ちました。ChatGPTは質問したことを全部覚えています。将来、子供のことから、AIを利用している人にとっては、人間よりも【共感】してくれるアドバイザー・先生になっているかもしれません。

## 02

## —新連載—

## 自動車リサイクル業界の転換点を生き残る

## ELV 台数の減少とその背景 (2)

今回は、中古車輸出台数とELV台数の減少の関係について論じ、一面では競合関係になっているが、それだけの単純な関係でもない述べ、自動車解体業の主たる事業である中古部品輸出量がどうなっているかを見る必要があるとした。

ところで、中古車輸出台数については、財務省貿易統計や、抹消登録等から把握することが可能であるが、中古部品輸出量については、統計上の実数を把握する方法がない。ただし、新品・中古合わせた自動車部品については、財務省貿易統計や国連貿易統計において、輸出量の実数（「実数」とは何かという論点もあるが、ここでは捨象する）が示されているので、これらのデータから中古部品輸出量を推計することが出来る。筆者らの『自動車リユースとグローバル市場』中でも、ある推計手法を用いて輸出量を求めたが、実感としての実態と異なる部分もあった。そこで今回、別の手法を用いた推計を行ってみた。

日本発の自動車部品の流通構造を俯瞰するとすれば、日系自動車メーカーの完成車工場が多数立地する国向けには新品部品中心に輸出され、そうでない国には中古部品中心に輸出されている、となるだろう。財務省貿易統計では、輸出量のほかに輸出金額も把握することができるので、この想定が正しいとした上で、部品スペックによる金額の差異を無視すれば、完成車工場のある国に向けた自動車部品の（例えば重量あたり）輸出単価①は高くなり、そうでない国向けの輸出単価②は安くなる傾向があると考えられる。

本稿では、様々な制約の為に、自動車用エンジンのみを対象として①②を求める。エンジンは貿易統計上、3つのカテゴリーに分けて集計されているので、輸出国数×輸出港湾数×対象期間（年ないしは月）×3、という大量の輸出単価データが作成され、これを①と②に分けて単価の分布（特に最頻値）を見ることで、「妥当な」新品エンジン単価、中古エンジン単価を推定できる。これを用いれば、エンジン全体の輸出量から中古エンジン輸出量を分割して求めること、すなわち、輸出先や輸出量、輸出量の推移などを把握することが可能になる。今回は、日系自動車メーカーの工場数が10か所を超えるアメリカ合衆国、タイ、中国、インド、インドネシア、欧州（工場を有する国のみ）の国・地域を①の対象として、それ以外の国・地域を②の対象とした。詳細は割愛するが、結果として、新品エンジンは、1,800円/kg、中古エンジンは200円/kgと推定した。

これらの数値を、自動車用エンジンカテゴリーの年別（10年分）・国別・港湾別データに投入・計算した結果、図1・図2のデータが求められた。



北海学園大学  
経済学部教授  
浅妻 裕

図1：中古エンジン輸出量の推移（全世界・主要4か国）

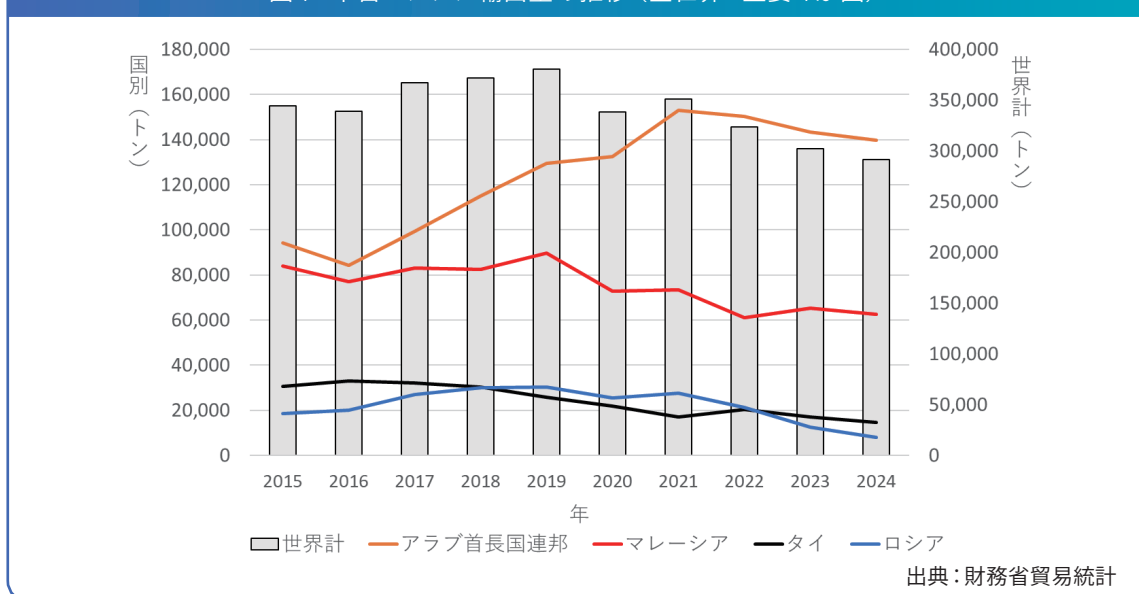


図1からは、ピーク時には40万トン弱の中古エンジンが輸出されているが、コロナ禍以降、おおむね減少傾向にあることが把握できる。国別にみた場合には、中古部品貿易の再輸出拠点として知られるUAEが近年は突出しており、もう一つの拠点といえるマレーシア向けが減少を続けている。東南アジアでのマレーシアに準ずる拠点といえるタイ向けも長期低落傾向である。ロシア向けはウクライナ危機によって近年の大幅な減少が説明できる。

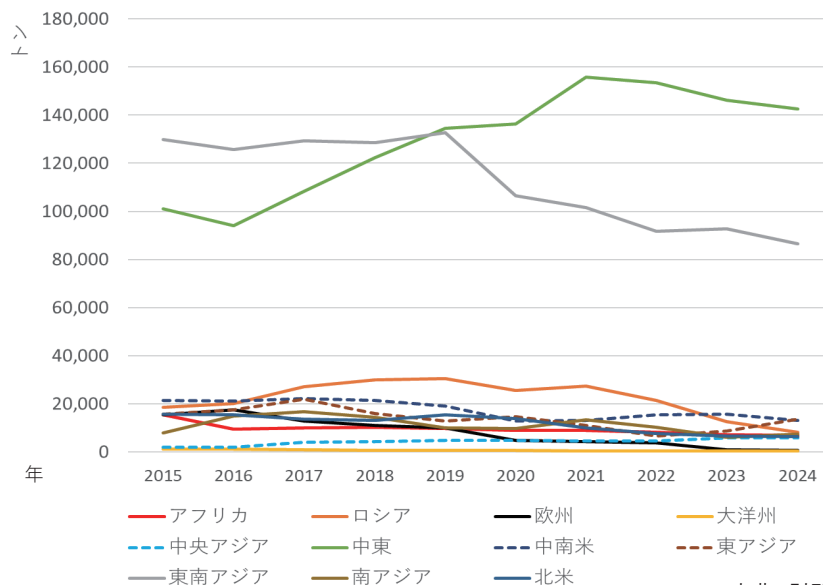
## 02

## —新連載—

## 自動車リサイクル業界の転換点を生き残る

図2からは、中古エンジン輸出は、中東向けと東南アジア向けに大別されるが、中東向けの輸出量（シェア）が伸びている一方で、東南アジア向けは長期低落傾向にあることが明確に把握できる。なお、第1回で述べた中古車と同様、中東（アラブ首長国連邦）は中継地であり、これらは主としてアフリカ向けに再輸出されていると考えられる。

図2：中古エンジン輸出量の推移（世界地域別）



出典：財務省貿易統計

今回の推計からは、近年のELV発生台数と同様に、中古部品輸出量も減少局面に入っていることが分かった。自動車解体業者がELVをより確保しやすい環境づくりを目指すことが大切であるが、現状への対応という点では、中古部品がより高く評価される地域向けの輸出開拓や、品質の向上によって付加価値を上げることが必要になってくる。しかし、中古部品市場では移民系企業を中心とした新規参入業者も多く競争圧力が強く働いているため、上記のような対応も簡単ではない。続く第3弾では、移民系企業の展開状況や課題などについて論じたい。

## 03

## 資源回収インセンティブ制度コンソーシアム公募要領が公開

## 資源回収インセンティブ制度のコンソーシアム公募要領が公開されました。

2026年4月から開始予定の「資源回収インセンティブ制度」へのコンソーシアム公募要領が公開されました。本制度は、解体業者や破碎業者が破碎残さ（ASR）になる前に樹脂やガラスを回収することで、ASRになる重量を減量し、その減量分に相当する再資源化費用（ASRリサイクル料金）を、資源を回収した事業者を経済的インセンティブとして付与する制度です。参加にはASR再資源化チームの公募要領の記載内容に従い、必要な管理要件等を満たすコンソーシアムを構築し、申請、審査、契約が必要です。

ASR再資源化チーム（TH、ART）各々で申請を行う必要がございますので、詳細は下記公募要項を参照ください。

THチームは[こちら](#)ARTチームは[こちら](#)

## 04

## 第19回 景況調査報告 2025年1～3月期

集計・分析：長崎大学 経済学部 教授 木村真実

## 資金繰りへの不安は改善するも 経常利益への懸念はつづく

## 【調査要領】

- ①調査期間：2025年3月18日（火）～3月31日（月） ②対象企業：日本自動車リサイクル機構会員企業  
 ③調査の方法：FAX・Webの送受信による自計記入を求めた。 ④回答企業数：455社のうち116社（26.1%）から回答を得た（うち、有効回答数115）  
 ⑤平均従業員数：役員を含む正規従業員数 43.9人（前回47.1人）  
 派遣社員・臨時・パート・アルバイトの数 11.0人（前回23.9人）  
 ※DI値（DI：Diffusion Index）「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたもの ※：本文中の「△」はマイナスを意味する。

今回の調査結果についての詳細や解説などは、以下の「報告書版」からご覧ください。

報告書版はこちら ▶

<https://www.elv.or.jp/media/20/20250422-keikyo19kekka.pdf>

図では第1回景況調査（2020年7-9月期）から第19回景況調査（2025年1-3月期）までの、前年同期比のDI値の推移を示す。前回の第18回調査（2024年10-12月期）と比べると、売上高は1.0ポイント改善、資金繰りは7.5ポイント改善したが、業況判断は5.5ポイント悪化、経常利益は6.4ポイント悪化であった

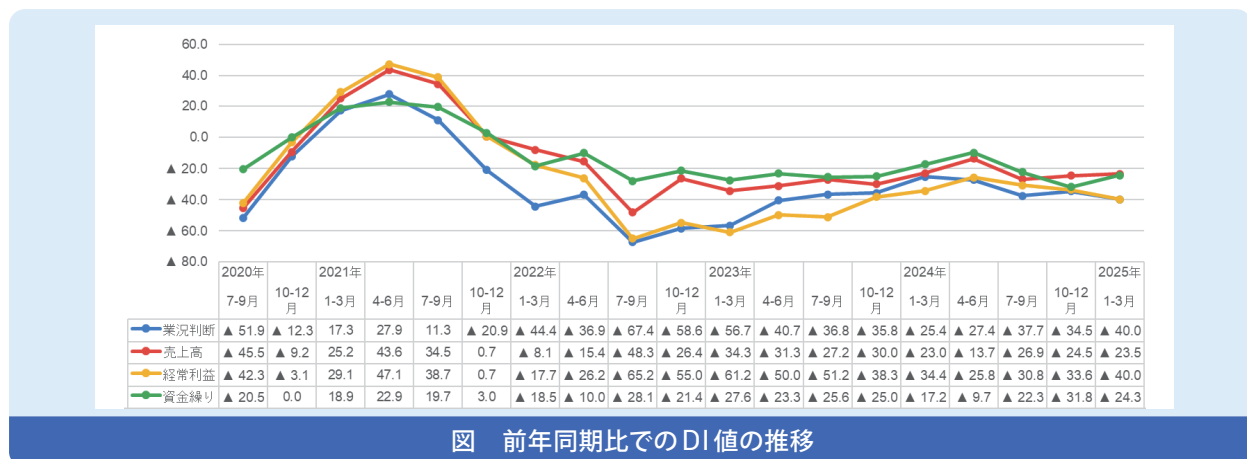


図 前年同期比でのDI値の推移

以下の表では、2025年1～3月期の、業況判断、売上高、経常利益、および資金繰りの動向を、前期比、前年同期比、次期見通しで示す。

表 業況判断、売上高、経常利益、運転資金調達の動向

|      | 前期比(2024年10～12月と比べて) |                |                 |                      | 前年同期比(2024年1～3月と比べて) |                |                 |                      | 次期見通し(2024年4～6月と比べて) |                |                 |                      |
|------|----------------------|----------------|-----------------|----------------------|----------------------|----------------|-----------------|----------------------|----------------------|----------------|-----------------|----------------------|
| 業況判断 | 好転<br>8.7%           | 横ばい<br>49.6%   | 悪化<br>41.7%     | DI値<br>-33.0 (-33.6) | 好転<br>9.6%           | 横ばい<br>40.9%   | 悪化<br>49.6%     | DI値<br>-40.0 (-34.5) | 好転<br>9.6%           | 横ばい<br>52.2%   | 悪化<br>38.3%     | DI値<br>-28.7 (-34.5) |
| 売上高  | 好転<br>15.7%          | 横ばい<br>52.2%   | 悪化<br>32.2%     | DI値<br>-16.5 (-20.9) | 好転<br>15.7%          | 横ばい<br>45.2%   | 悪化<br>39.1%     | DI値<br>-23.5 (-24.5) | 好転<br>11.3%          | 横ばい<br>54.8%   | 悪化<br>33.9%     | DI値<br>-22.6 (-30.0) |
| 経常利益 | 好転<br>13.0%          | 横ばい<br>47.0%   | 悪化<br>40.0%     | DI値<br>-27.0 (-37.3) | 好転<br>10.4%          | 横ばい<br>39.1%   | 悪化<br>50.4%     | DI値<br>-40.0 (-33.6) | 好転<br>10.4%          | 横ばい<br>49.6%   | 悪化<br>40.0%     | DI値<br>-29.6 (-39.1) |
| 資金繰り | 容易になった<br>5.2%       | 変わらない<br>67.8% | 厳しくなった<br>27.0% | DI値<br>-21.7 (-25.5) | 容易になった<br>6.1%       | 変わらない<br>63.5% | 厳しくなった<br>30.4% | DI値<br>-24.3 (-31.8) | 容易になった<br>5.2%       | 変わらない<br>62.6% | 厳しくなった<br>32.2% | DI値<br>-27.0 (-30.0) |

注：DI値欄のカッコ内の値は前回調査時のDI値です。

## ■事務局より■

次回、第20回（2025年4～3月期）の景況調査につきましては、2025年6月を予定しております。皆様、引き続きご協力の程お願いいたします。

## 05

## ▶ 吉田商会 SDG s の取り組み

## 使用済自動車由来フロントガラスの芸術家への無償提供

株式会社吉田商会（愛知県豊橋市）では、自動車解体業としての特性を活かし、様々なSDG s の取り組みを行っております。特に目を惹くのが「使用済自動車由来フロントガラスの芸術家への無償提供」です。

車のフロントガラスの製造過程で出る廃材で出来た透明絵の具で描く「ディンプルアート」の認定講師でもある豊川市のart書画作家art・書ko（アート・ショコ）さんこと山口浩司さんに「フロントガラスに描いてみないか」と吉田廣喜会長が話を持ちかけたことがキッカケで始まりました。

フロントガラス特有の強度や透明感を活かし、個性豊かな作品として新たな命を吹き込むことで、リサイクルの枠を超え、循環型社会の実現に貢献するとともに、地域の文化や創造活動の活性化にも寄与している魅力的な取り組みだと業界内外から絶賛いただいているとのことです。



【フロントガラスを使ったディンプルアート紹介する  
吉田会長㊟と山口さん㊟】東愛知新聞3月26日掲載

## 06

## ▶ 第8回「クルマのリサイクル」作品コンクール表彰式

## 「クルマのリサイクル」作品コンクール表彰式が開催されました！

3月28日、公益財団法人自動車リサイクル促進センター主催の「第8回クルマのリサイクル」作品コンクールが開催され、JAERAから木内副代表が審査員として出席しました。このコンクールは、子どもたちが自由な発想で未来のクルマのリサイクルをテーマに、ポスターや標語の作品を制作するもので、毎年多くの応募が寄せられる人気イベントです。木内副代表は「次世代の子どもたちがクルマを通じて環境や資源の大切さを考える貴重な機会。非常に意義深い取り組みです。」と述べました。自動車リサイクル業界にとっても、こうした活動が子どもとの接点となり、リサイクルの重要性を広く伝える契機となっています。今後もJAERAは本コンクールへの協力を継続し、未来の担い手の育成を後押ししていきます。



表彰式の様子



賞状を手に記念撮影

## 07

## ▶ JAERA 会議報告

## 中部・北陸ブロック会議

—3月28日（金）岐阜県岐阜市—

## —資源循環をめぐる最新動向と業界課題を共有—



金森ブロック長の挨拶  
※写真提供：日刊市況通信社

金森ブロック長をはじめ各支部長や会員、自治体関係者が出席し、JAERA本部からは石井代表理事と阿部専務理事が参加。今回は自治体の担当者も交え、業界の最新動向や直面する課題について活発な意見交換が行われた。

石井代表理事は、廃車台数の減少や外国人事業者の増加といった業界構造の変化に触れ、「適正処理を前提とした公正な競争環境の整備が急務」と強調。再生材利用の拡大により、中古部品供給に加えて再資源化ビジネスへの展開も視野に入るとの見解を示した。阿部専務理事からは、2026年4月に本格運用が予定されている「資源回収インセンティブ制度」について説明があり、中小解体業者の参画可能性も紹介。さらに銅の国内循環を目指すワイヤーハーネス共同出荷事業の報告があり、会員の収益向上に期待が寄せられた。

能登半島地震における被災車両引き上げ支援、各県支部の活動報告、行政による立入調査結果も共有され、業界と行政の連携強化の必要性が再認識された。

## 08

## 2024年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業 3月出荷状況と今期累計

上段：3月出荷数 下段：今期累計 単位：個

| 参加会社数<br>(社) | プリウス 20 | プリウス 30 | プリウス α 41 | レクサス<br>CT200H | アクア<br>/ヴィッツ | カローラアクシオ<br>/フィールダー | クラウンHV<br>GWS204 | クラウンHV<br>AWS210 |
|--------------|---------|---------|-----------|----------------|--------------|---------------------|------------------|------------------|
| 19           | 4       | 33      | 2         | 0              | 39           | 0                   | 1                | 1                |
| 79           | 158     | 514     | 6         | 1              | 541          | 7                   | 9                | 20               |

| SAI/レクサス<br>HS250H | 日産デュトロ<br>/ブルーリボン | ノア/ヴィクシー<br>/エスファイア | シエンタHV | プリウス50 | プロボックス<br>サクシード | マツダ<br>アクセラ | 不良品A～C | 合計   |
|--------------------|-------------------|---------------------|--------|--------|-----------------|-------------|--------|------|
| 3                  | 0                 | 2                   | 3      | 2      | 0               | 0           | 2      | 92   |
| 12                 | 7                 | 23                  | 7      | 8      | 1               | 0           | 193    | 1507 |

2023年度の結果はこちら ▶

<https://elv.or.jp/index.php?itemid=1906>

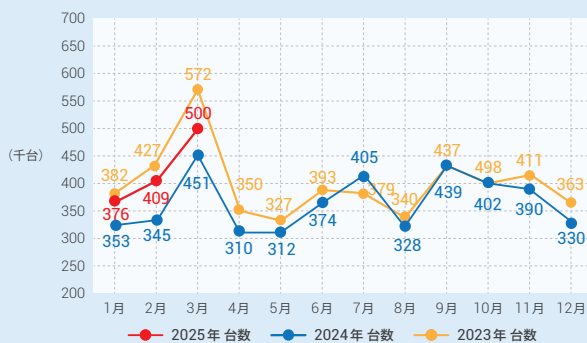
## 09

## 3月新車販売・使用済自動車発生台数

新車販売台数は継続的に前年超え、使用済自動車引取台数は前年を下回る

### ■2025年3月度 新車販売台数 499,746台（前年同月比110.7%）

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会



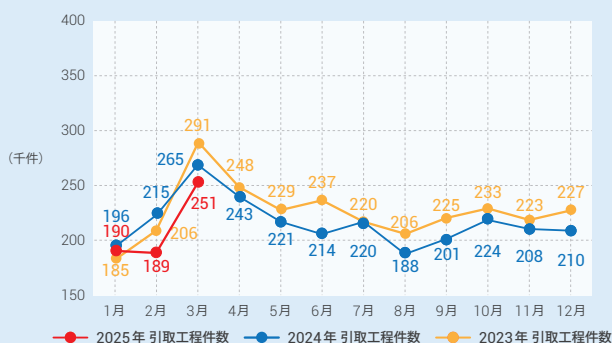
新車販売の月別推移 (2025年 2024年 2023年)

過去の新車販売台数推移

| 年累計             | 台 数       | 前年比 (%) |
|-----------------|-----------|---------|
| 2025年<br>(3月まで) | 1,285,352 | 113.6   |
| 2024年           | 4,421,494 | 92.5    |
| 2023年           | 4,779,086 | 113.8   |
| 2022年           | 4,201,320 | 94.4    |
| 2021年           | 4,448,340 | 96.7    |

### ■2025年3月度 使用済自動車引取（電子マニフェスト）実施状況

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター



使用済自動車引取件数の月別推移 (2025年 2024年 2023年)

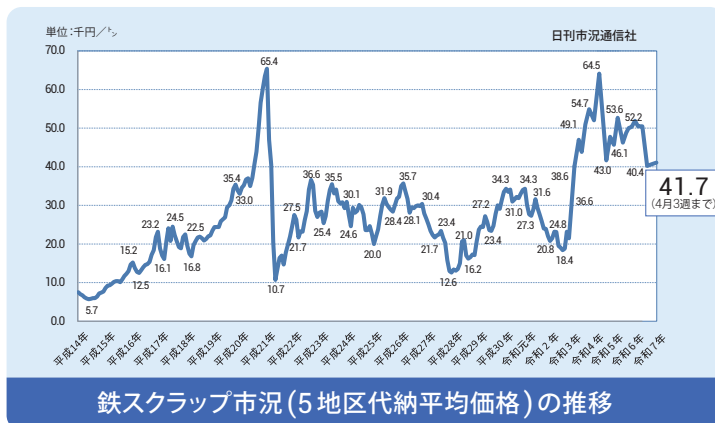
| 引取件数    |                      |
|---------|----------------------|
| 3月      | 250,603件（前年同月比94.6%） |
| フロン回収工程 |                      |
| 3月      | 221,001件（前年同月比94.2%） |
| 解体工程    |                      |
| 3月      | 249,149件（前年同月比93.4%） |

## 10

## 鉄スクラップ最新情報

[ 提供：日刊市況通信社 ]

## 4月第4週（22日）の鉄スクラップ動向



4月22日の国内スクラップ炉前実勢価格（中心値）

|     |     | H2              | 気配  |
|-----|-----|-----------------|-----|
| 関東  | 北関東 | 40,500 ～ 41,500 | 様子見 |
|     | 南関東 | 40,500 ～ 41,500 | 様子見 |
|     | 浜値  | 41,500 ～ 42,500 | 様子見 |
| 名古屋 |     | 41,500 ～ 43,000 | 弱含み |
| 関西  | 大阪  | 41,500 ～ 43,500 | 弱含み |
|     | 姫路  | 41,500 ～ 43,000 | 弱含み |

## 海外、トルコ向けわずかに反発も依然弱基調

海外の鉄スクラップ市場は、依然として基調が弱い。こうした中、大幅に値を下げたトルコの輸入鉄スクラップ相場が、4月第3週の直近の新規成約でわずかながら反発した。ただトルコ産の製品環境はなお荷動きが悪く需要が停滞しているため、反発力に乏しいとの見方が大勢だ。また米国の関税政策が流動的なことも、世界各地の基調の弱さにつながっている。

直近のトルコの輸入鉄スクラップ成約では、バルト海玉のHMS1&2（80：20）がCFR348ドルを付けた。これにより、米国玉のHMS1&2（80：20）は気配値で再びCFR350ドルを若干超えるところに回復した。この直前の成約では、英国玉のHMS1&2（80：20）がCFR335ドルを付け、米国玉のHMS1&2（80：20）の気配値はCFR340ドルを下回る水準だった。

その一方で、アジア方面は徐々に値を下げる動きだ。バングラデシュの輸入価格は、西海岸からのHMS1&2（80：20）がCFR370～375ドルで、3月下旬のCFR380～385ドルどころからは10ドルの値下がり。インド向けは、欧米シッパーのシュレッダーのオファーでCFR380ドル前後が聞かれる。

## 東日本 各地の電炉メーカーは様子見

関東、東北、新潟の電炉メーカーは様子見を続けている。各地域の生産量は低迷しており、海外では製品やスクラップ価格が値下がりするなど、下げ圧力は強まっているものの、スクラップの荷動きが不安定なため、東京製鉄宇都宮が静観する中では各社とも引き合いを弱めにくい状態だ。関東地区のH2炉前実勢価格は40,500～41,000円中心、高値41,500円見当。H2浜値は41,500～42,000円中心、高値42,500円見当。

## 東海 需要家筋の値下げ広がり反落

東海市場の需要家筋3社4事業所が22日、鉄スクラップ購入価格を500円引き下げた。22日時点で電炉5社が購入価格を据え置いたままだが、近く同様の値下げ対応を実施すると予想される。米国の関税政策により世界経済の減速懸念が強まり、海外・輸出相場が続落していることが東海地区にも影響を与えている。H2炉前実勢価格は41,500～43,000円中心。一部が値下げを実施したが、22日時点では中心値に変動はない。

## 西日本 下げ含みを予測する声が多数

西日本地域の鉄スクラップ市況は一段安。需要が上向いてくるような局面でもなく、輸出商談不振も加わり、目先も下げ含みを予測する声が多い。一部電炉メーカーの値下げ改定後も、発生薄の影響により荷動きに殺到感は見られない。円高などもあり新規輸出も振るわない状況。H2炉前実勢価格は、大阪地区が41,500～43,500円中心。九州地区は41,000～41,500円中心、姫路地区は41,500～43,000円中心。

（※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、4月22日午前時点のもの）

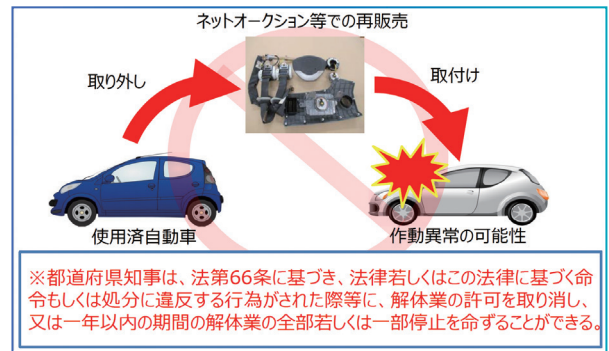
## 11

## お知らせ —JAERA 事務局より—

## 使用済自動車から取り外したエアバッグ類の再販売は法律違反です！

使用済自動車から取り外したエアバッグ類は自動車製造事業者等に引き渡すことが義務づけられており、再販売することは自動車リサイクル法違反となります！2016年7月に経済産業省・環境省からエアバッグ類のネットオークション等での再販禁止に関する文書も発出されておりますので、今一度ご認識をいただきますようよろしくお願いいたします。

詳細は[こちら](#)（自動車再資源化協力機構 HP 内）



## 編集後記



5月には「こどもの日」や「母の日」がありますが、「父の日」は6月と少し遅れてやってきます。でも、遅いからといって軽んじられるべきではありません。大相撲では結びの一番に横綱が登場し、寄席でも最後に出てくるのは真打ち。つまり、「最後に登場する人」は本来一番偉いはずです。

ところが最近では、子どもに「頼りない人、だらしない人は？」と聞くと、多くが「うちのお父さん」と答えるそうです。昔は多少厳しくても「お父さんが言うなら仕方ない」と納得されるだけの権威がありました。今では家庭内の権力はお母さんが握ることが多くても、権威くらいはお父さんが保ってほしいものです。権力と権威が二分されている方が、何かと物事がスムーズに進むこともあるのではないのでしょうか。

ところが、世界にはその両方を独占しようとして全世界を混乱させ、他国や自国民を力で支配しようとする指導者もいます。そうした行為を正当化する根拠が一体どこにあるのか、不思議でなりません。

広報部会長 田村 幸男

## 5 月の主な行事予定

※急遽、日程変更・延期の場合がございます。

- 12日(月) | 第1回理事会 (WEB)
- 14日(水) | 第2回広報部会 (対面)
- 15日(木) | J-FAR (資源回収インセンティブ実装事業) 定例会 (WEB)
- 28日(水) | 関東ブロック会議 (対面・WEB)

